



枚二だより

枚方市立枚方第二小学校
TEL 050-7102-9004
令和5年8月号

「2学期が始まります」



夏休みが終わりました。以前、私が担任をしていたクラスで、毎年数名の子どもたちが夏休みも終盤をおかえたころ、「先生、退屈やわ。早く学校始まらへんかなあ。」と手紙や電話をくれたりしたことがありました。この時期、あと、せめて一週間夏休みがあればなあ、と泣きながら宿題に追われていた私自身の子どものころと違って、勉強はもちろんですが早く学校で友達と会って遊んだり、おしゃべりしたいなあと学校大好きな子どもたちが多かったのでしょうか。

みなさんは、思い出に残る夏休みを過ごすことができましたか。まだまだ、暑い日が続きますが、少しずつ体調を整えて、学校では、「勉強がわかるようになってきて楽しい!」「友達と遊べて楽しい!」「運動会や秋の遠足(修学旅行)が楽しみ!」と思えるようなワクワクする2学期にできたらいいですね。

2学期が始まり9月には1年、2年生の「枚方スイミング」での水泳の授業が行われます。本格的な運動会練習はどの学年も10月頃から始まる予定です。

「熱中症予防について」

毎日暑い日が続きます。常に水筒を準備して、水分は多めに持ってきてください。それでも不足してしまった場合は、職員室に水筒を持ってきてください。夏の間はウォーターサーバーを設置していますので、補給します。熱中症対策として学校では引き続きこまかな水分補給と運動場での体育の授業や休み時間はマスクを外すよう指導を行っていきます。

「コロナ対策について」

本日、第二学期始業式より子どもたちが、通常の学校生活を始めるにあたり、本校では、引き続き基本的な感染症対策の徹底を行いながら教育活動を進めてまいります。なお、登校前に体調がすぐれない場合は、体温等も確認していただき、発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合には、無理をせずに、自宅で休養することを推奨いたします(登校後の体調不良時も同様)。

「学力向上研修・枚方中学校区教職員夏季合同研修」

8月23日(水)の午前中は、京都教育大学附属桃山小学校 主幹教諭 若松 俊介先生をお招きし、「学力向上研修」を実施しました。子どもたちの学力向上のための授業改善について学び、2学期の教育活動に活かせるように努めていきます。午後は、枚方市教育委員会 教職員課 角 政人指導主事による「教職員の服務」枚方中学校区教職員 夏季小中合同研修を受講しました。教育の場において、直接児童を指導するという職責に鑑み、平素から自粛自戒し、厳正な服務規律を保ちます。



「屋上庭園をきれいにしました」



この夏休みに屋上庭園の除草を施し、きれいになりました。きれいになった屋上庭園は、とても気持ちがいいです。今後、各学年の子どもたちの教育活動や地域活動に活用することができます。

<行事予定>

8 月					
25	金	2 学期始業式	29	火	
26	土		30	水	
27	日		31	木	
28	月	給食開始 全学年 4 限授業(13:20 下校)			
9 月以降の予定					
9 月 6 日 (水) 地区児童会、集団下校(13:55 下校開始)					
9 月 13 日 (水) 6 時間授業、前期委員会④					
9 月 14 日 (木) 5 年生校外学習					
9 月 15 日 (金) 4 年生校外学習					
9 月 20 日 (水) 6 時間授業、前期クラブ④					
9 月 26 日 (火) 授業参観・懇談(1・3・5 年生)					
9 月 28 日 (木) 授業参観・懇談(2・4・6 年生)					
10 月 22 日 (日) 第 67 回運動会					

心の教室開室日

9/5、9/12、9/19、9/26

令和5年度授業アンケート結果報告について

枚方第二小学校

1. はじめに

6月に実施いたしました「教職員に対する授業アンケート」につきまして、今年度は、配布対象者数529名に対し、回答率（回収率）93%のご協力をいただきました。毎年、回答率の高さは、保護者のみなさんの学校教育に対する関心の高さと真摯に受け止めております。

本アンケート実施の趣旨につきましてはご依頼の際にお示ししたとおり、学校において、われわれ教職員が「魅力的な授業」「わかる授業」を行うため、子どもたちの授業に対する受け止めに把握し、教員の意欲・資質能力をより一層高めようとするものであります。われわれ教職員は、日々めざすべき授業とは何かを考えつつ、積極的な改善意識を持って授業改善に取り組もうとしています。この取組に対し、子どもたちが授業をどのように感じたのかなどを児童や保護者を対象とした授業に関するアンケートにより把握することで、授業が枚方第二小の子どもたちにとって、魅力的でわかる内容であったかどうかを客観的にとらえることができるようになるのではないかと考えています。ご協力ありがとうございました。

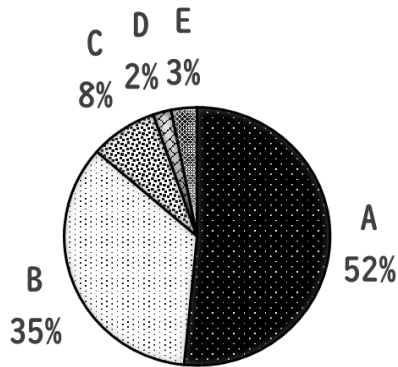
2. 令和5年度の学校全体の平均評価、傾向について

本年度実施における集計結果は右（円グラフ）のとおりです。各設問に対して「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた肯定的な評価について見ると、①「授業でその教科の学習に興味・関心・意欲を持つ」（興味・関心・意欲の向上）が86%、②「授業内容がわかる」（学習内容の習得）が89%、③「わからない時やもっと知りたい時に教えてもらえる」（個の状況に応じた支援）が81%、④「質問や発表がしやすい」（望ましい学習集団の育成）が81%、⑤「頑張ったことを認めてもらえる」（児童への適切な評価）が85%でした。5項目すべてで8割を超える肯定的評価があり、概ね良好な評価を得ていると考えます。しかしながら、「あまり思わない」「思わない」を合わせた評価が、8~14%あり、依然として1割前後の子どもたちが、わかりやすい授業、魅力ある授業と感じていない実態があります。

3. 本校の取組の成果と課題、結果を踏まえた今後の取組について

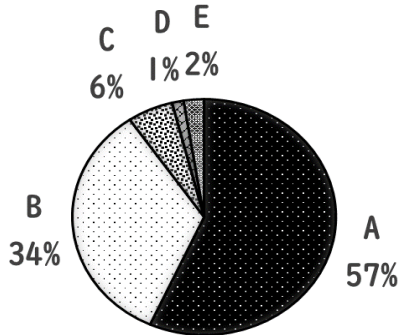
本校では、学習指導要領を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに、予測できない変化に主体的に向き合い、学びに向かおうとする力を身につけた児童の育成を実現するために、「主体的・対話的で深い学び」の実践に基づく授業改善が重要であると考えています。われわれ教職員は、《教職員の指導力（授業力）向上》、《子どもたちが安心して、学ぶ喜びを感じる学校》、《秩序ある学校》の確立を学校目標に掲げ、その中で本年度で4年目になる研究テーマとして「目的意識を持って情報を読み解き、自分の考えを伝えることができる子どもの育成」のための授業づくりをあらためて設定し、すべての教職員が研修を積み重ねて授業力を高めることに努め、すべての子どもたちが「わかる授業」と感じるような授業実践をめざして研鑽を積んでいます。児童一人ひとりが受け身の学習ではなく、自ら進んで学習計画を立て課題に取り組んだり、まわりの友達の考え方や意見を取り入れ、自分の考えをより深いものにしていく活動が、これからの学校生活、社会生活の中でも期待される能力ではないかと考えます。具体的には、これまでの教師主体の一斉授業からの脱却を行い、「教え」から「学び」への転換を図ります。教師は、児童の主体的な学びを支援するファシリテーター（伴走者）として、子どもたちが主役の学習活動による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をめざします。われわれ教職員は、この結果を踏まえ、授業内容の難易度、進度や進め方、教材の活用方法等、授業を構成する要素を常に見直し、一人ひとりの子どもにとって最適な学びとなるよう授業改善を進めていきます。一方で、読書活動やICT機器を使った学習などを充実させ、自ら関心意欲をもって課題解決に取り組む姿勢を身につけて欲しいと願っています。日々の授業が子どもたちにとって「魅力的な授業」「わかる授業」になっているかを自己評価しながら、「枚方第二小で学ぶ子どもたちにとって望ましいことは何か」を考察する視点に立ち、子どもたちの実態に即した授業改善をすべての教職員が、着実に進めていくことが重要と考えています。

質問1 お子さまは授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていきますか。

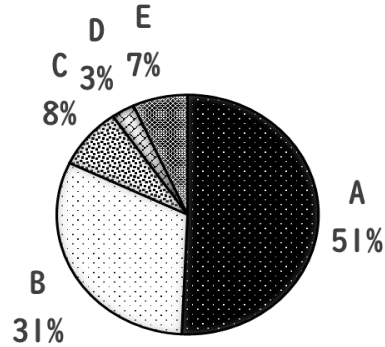


- A. そう思う。
- B. だいたいそう思う。
- C. あまり思わない。
- D. 思わない。
- E. わからない

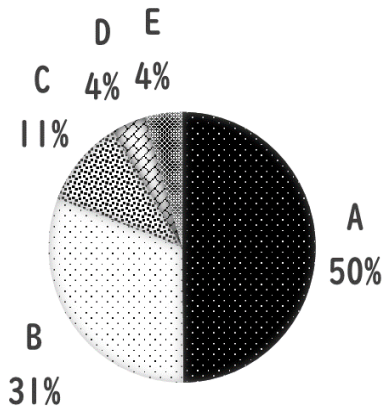
質問2 お子さまは、授業の内容が分かるようになっていきますか。



質問3 お子さまは、授業でわからないときやもっと知りたいとき、そのことについて、教えてもらっていますか。



質問4 お子さまは、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか。



質問5 お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか。

